

Zoomセミナー用資料

2026年末にかけての 米国株相場展望と投資戦略

2026年4月8日

岡三証券 投資戦略部

ストラテジスト 近藤 尚哉

ストラテジスト 八木 菜摘

目先はもみ合いも、中間選挙後は最高値更新を目指す展開を想定

S&P500の推移



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 日次 4月2日現在

● 金融政策 ● 企業業績 ● 政治 ● その他イベント

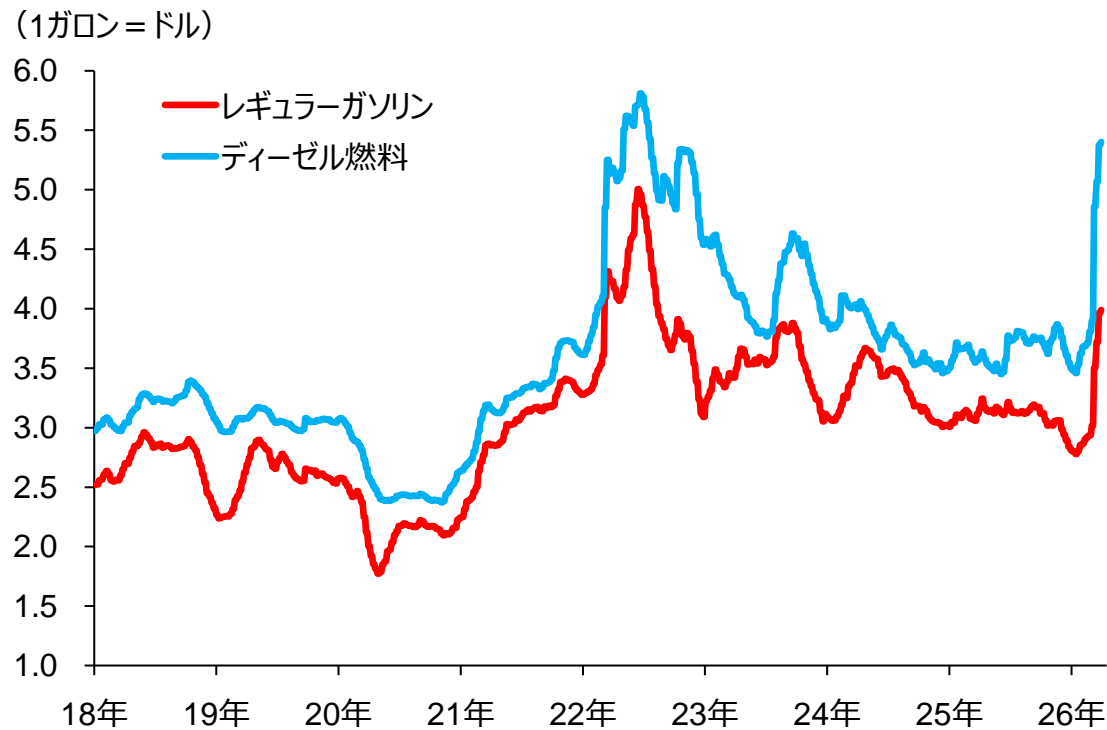
4月	5月	6月	7月	8月
16日 ウォーシュ次期 FRB議長 公聴会	14-15日 米中首脳会談	14-16日 G7サミット	28-29日 FOMC	下旬 ジャクソン ホール 会議
中旬～ 1-3月期決算発表	15日 パウエル議長 議長としての 任期満了	16-17日 FOMC*	中旬～ 4-6月期 決算発表	
28-29日 FOMC		6月11日-7月19日 FIFAワールドカップ		
9月	10月	11月	12月	その他
15-16日 FOMC*	27-28日 FOMC	3日 中間選挙	8-9日 FOMC*	
	中旬～ 7-9月期決算発表			

作成：岡三証券 予定は変更される場合があります 4月5日現在 *経済・政策金利見直し公表

- ✓ 目先は、原油価格高止まりによるインフレ再燃やプライベートクレジットへの懸念、金融政策運営を巡る不確実性などが相場の重しに
- ✓ 他方、景気全体は底堅い推移を見込むほか、企業業績面では2026年も前年比2桁ペースの利益成長が続くとの見方を維持。ただ、AIとの競争激化懸念やインフレ下でのK字型経済の加速などがリスク要因として残るなか、銘柄選別がより重要に
- ✓ 11月の中間選挙前は政策不透明感も一時的なリスク要因となろうが、選挙後はアク抜け感から相場が上昇する傾向がある点も下支え要因

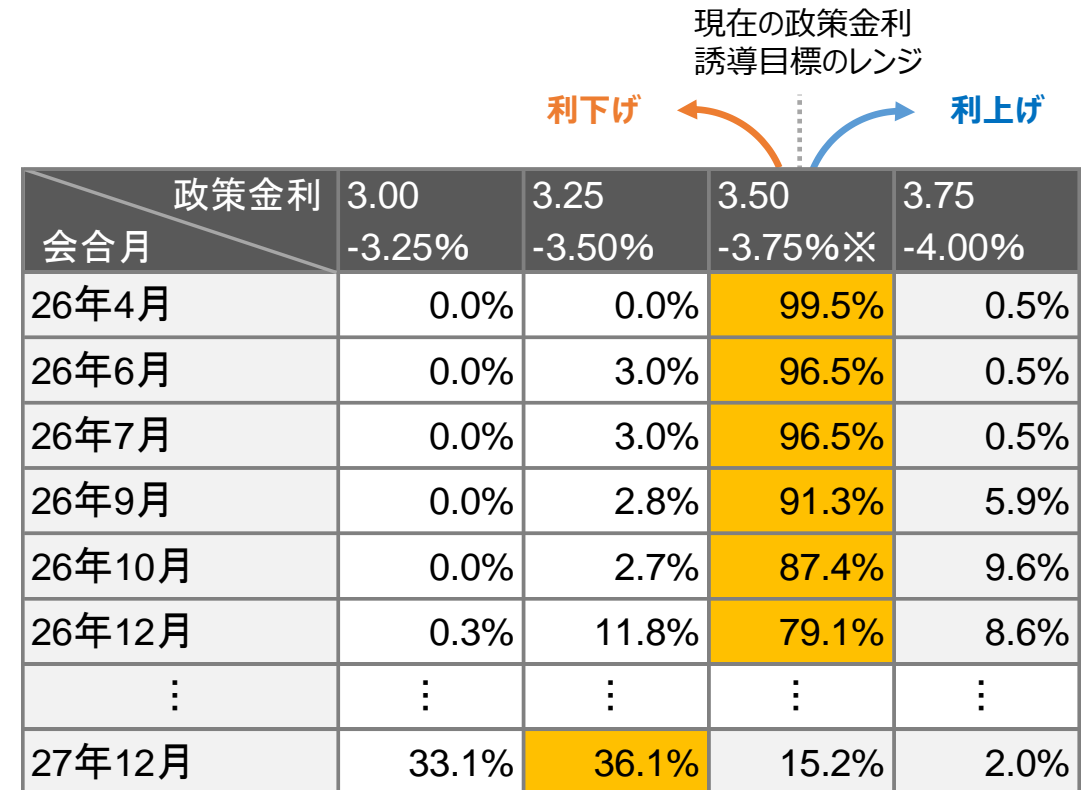
経済・金融政策 インフレ再燃への懸念から利下げ期待は低下

米国 レギュラーガソリンとディーゼル燃料 平均小売価格



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 週次 3月30日現在

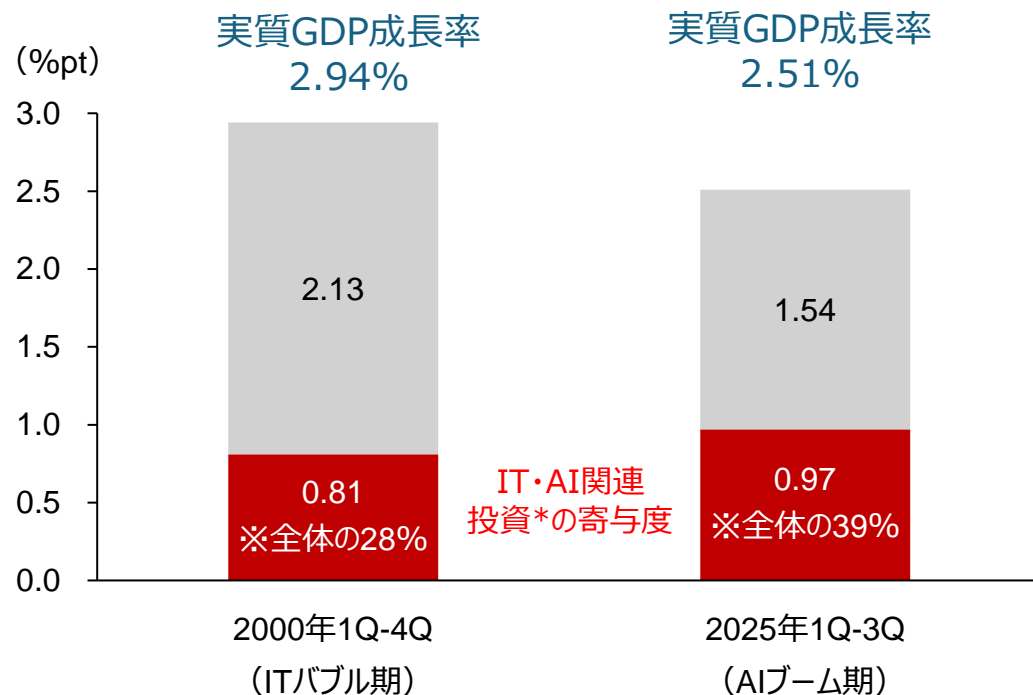
CME FedWatchツール 政策金利の予想確率



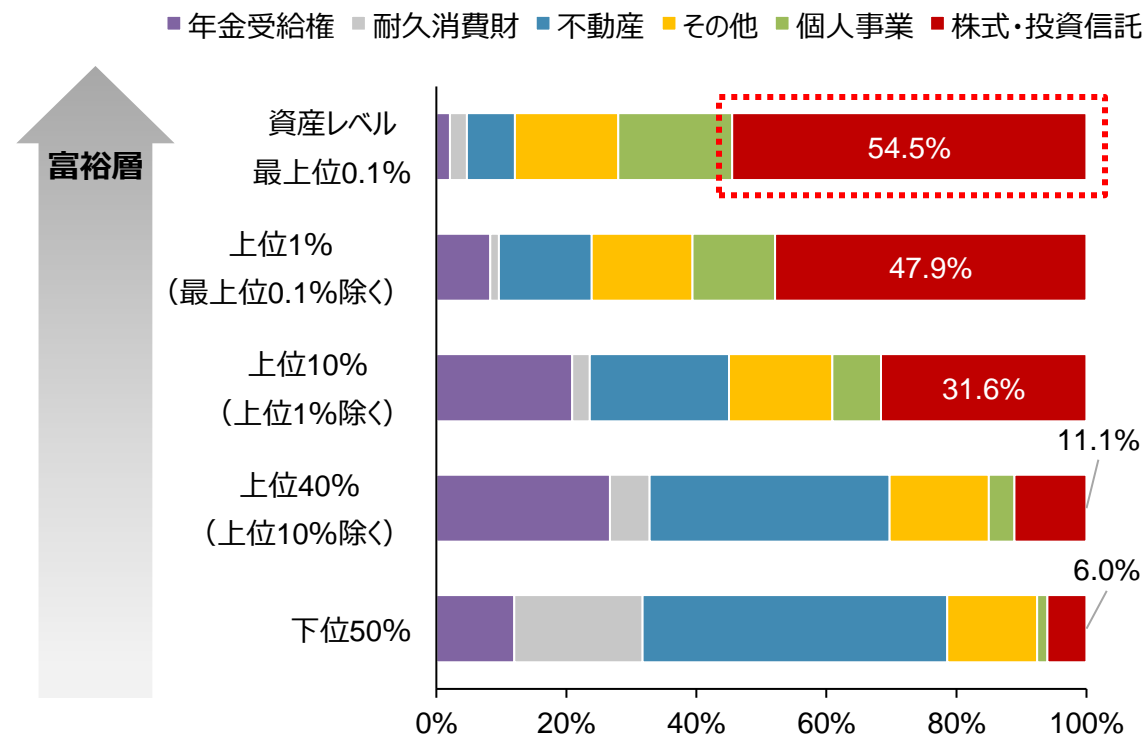
出所：CME FedWatchツール 作成：岡三証券 4月5日現在

経済 企業のAI投資や富裕層の資産効果は米経済を下支えしよう

実質GDP成長率に対するIT投資（ITバブル期）とAI関連投資（AIブーム期）の寄与度の比較



資産レベル別 保有資産の内訳

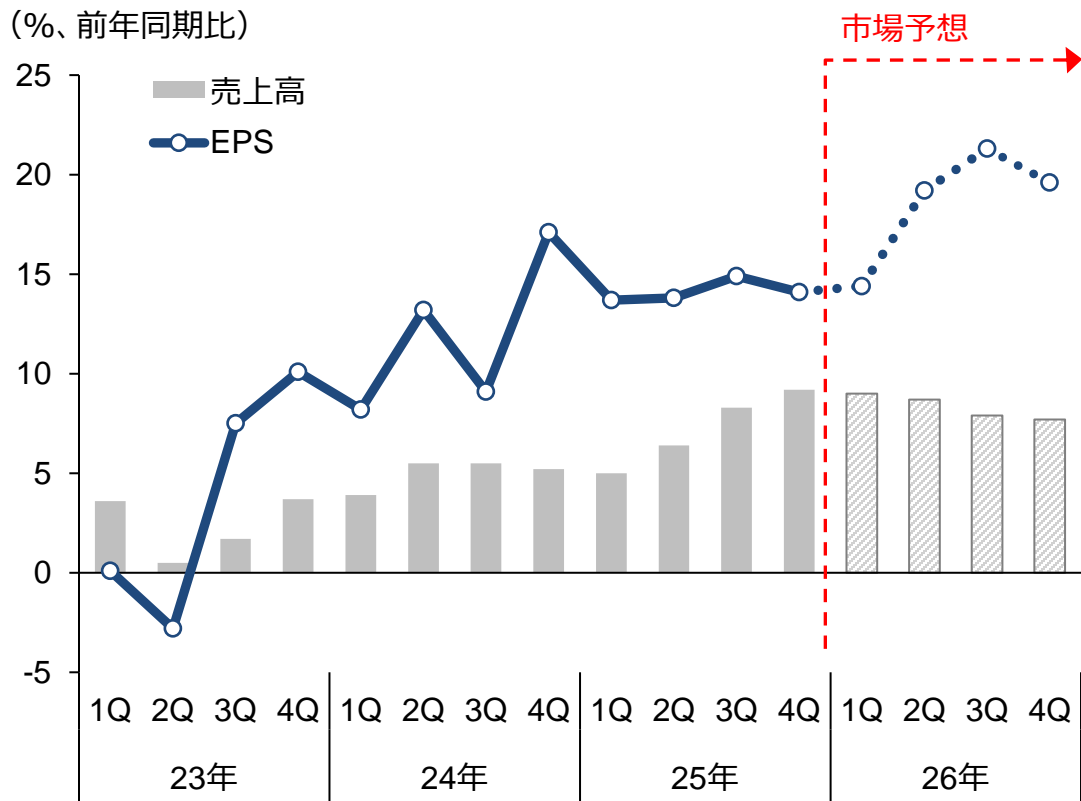


出所：セントルイス連銀 作成：岡三証券 年率換算
 *IT・AI関連投資 = 情報処理機器、ソフトウェア、研究開発、データセンターへの設備投資と定義

出所：FRB 作成：岡三証券 2025年4Q現在

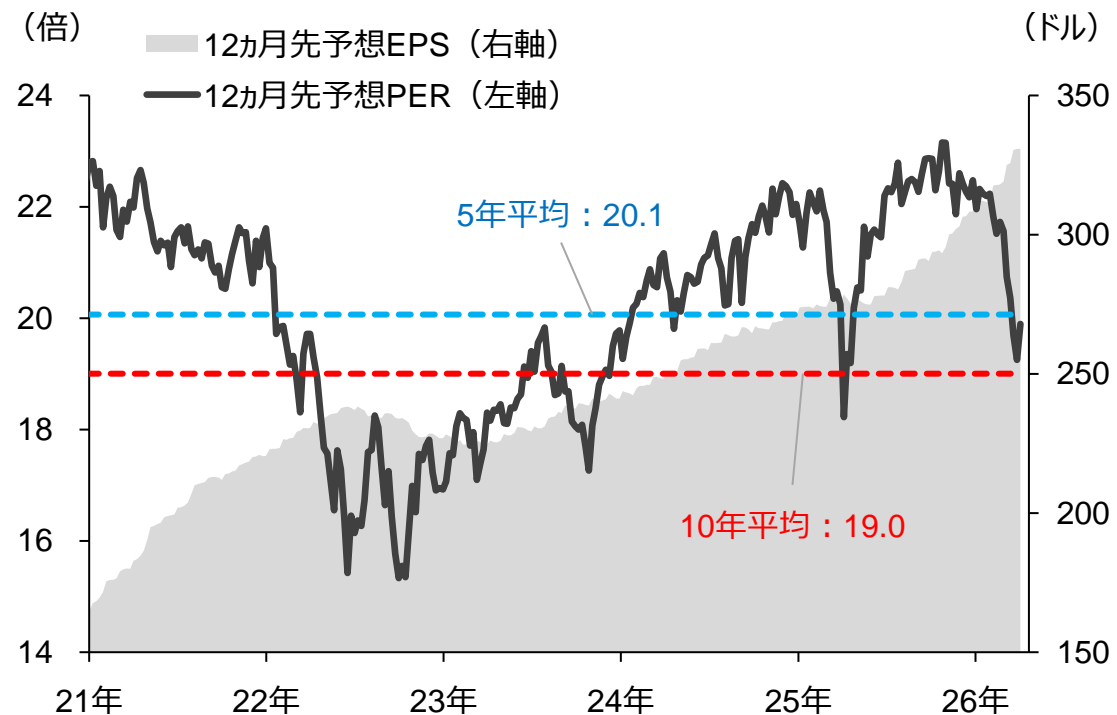
企業業績 2026年も2桁の利益成長が続く見通し

S&P500 売上高とEPS伸び率の推移



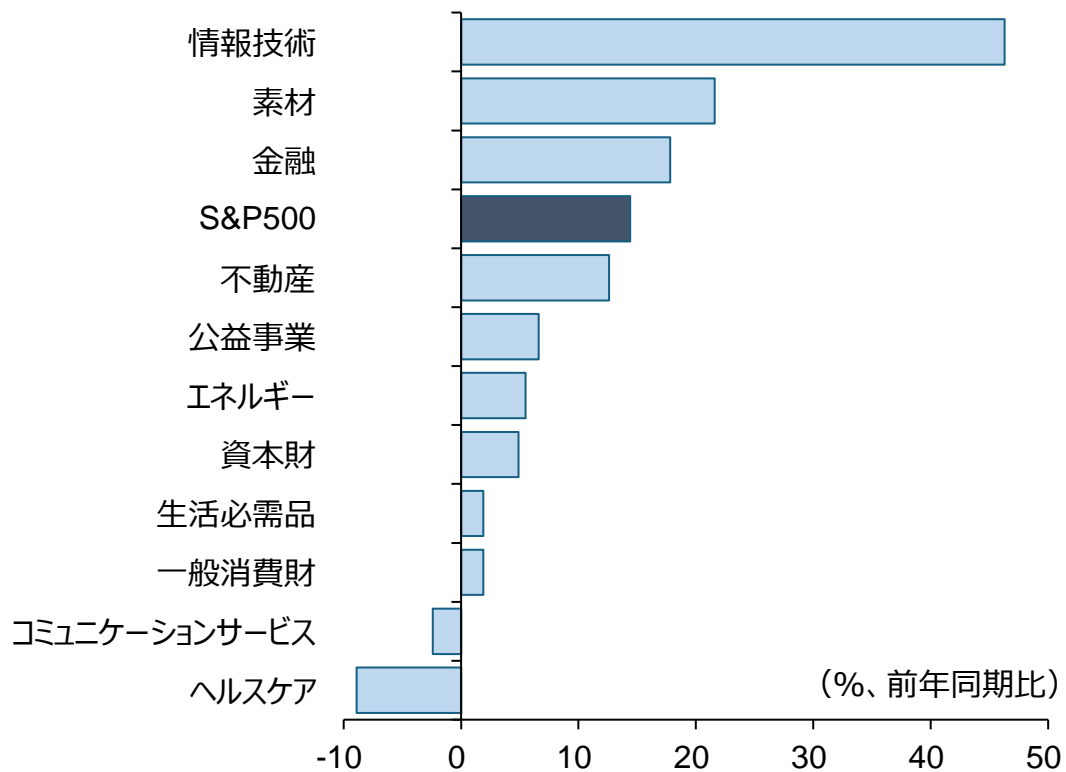
出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 4月2日現在

S&P500 予想EPSと予想PERの推移



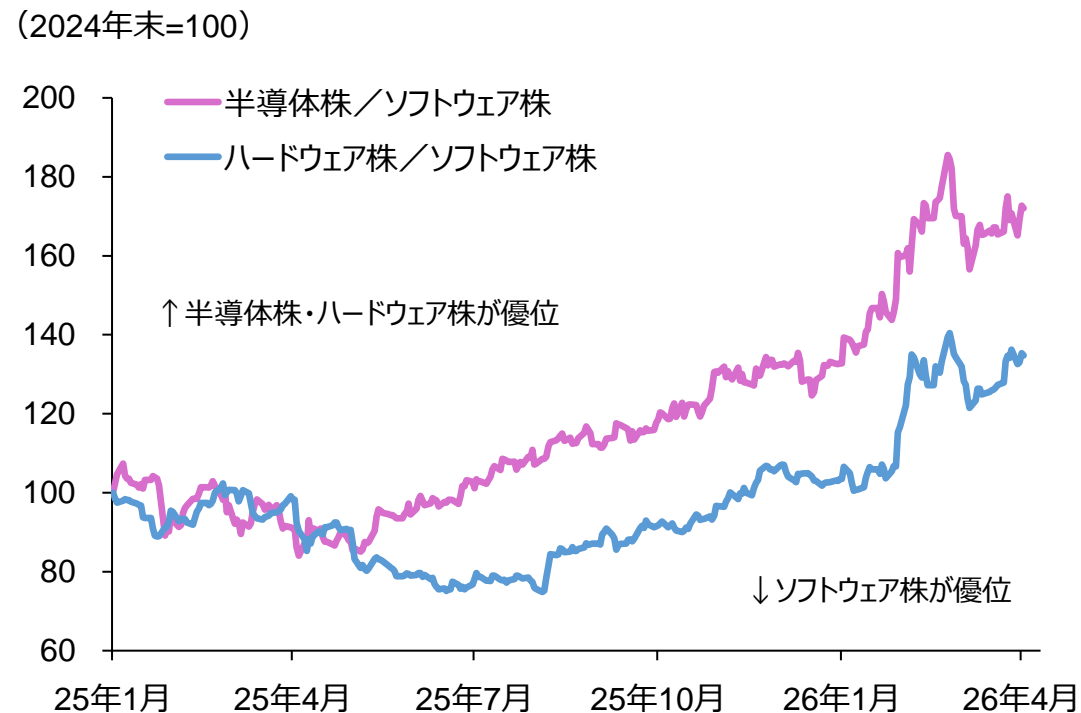
出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 週次 4月3日現在 5年平均と10年平均は予想PER

S&P500セクター別 2026年1Q 予想EPS伸び率



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 4月2日現在

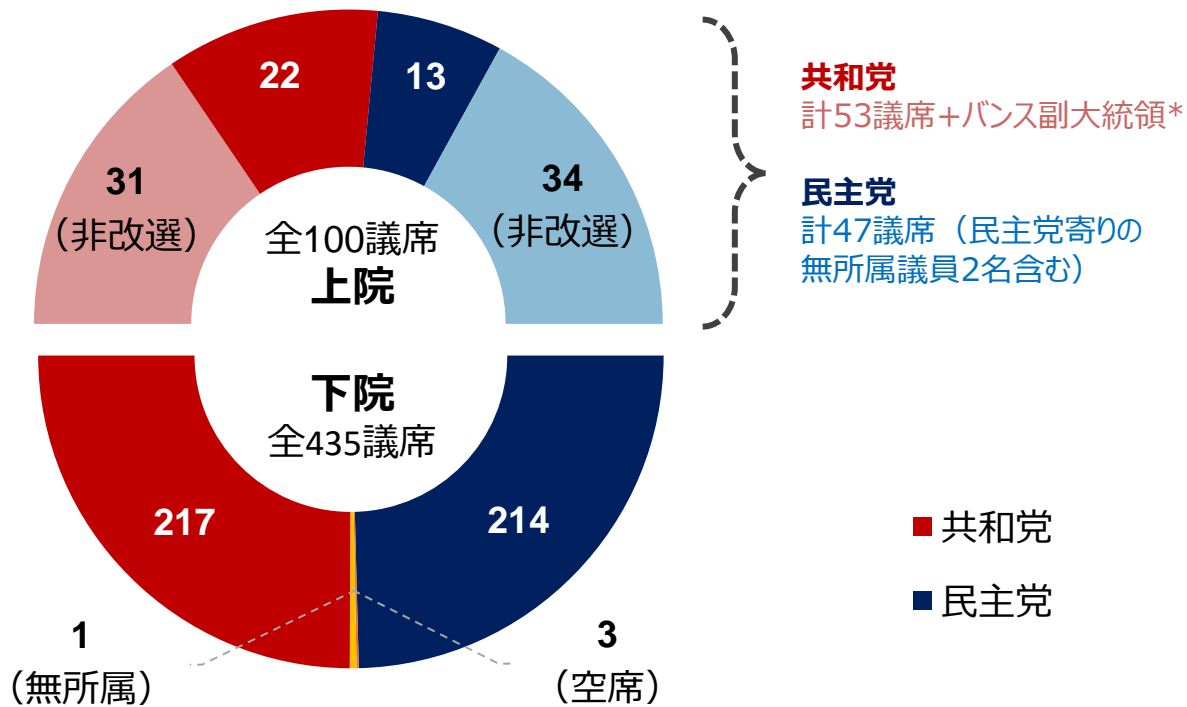
S&P500 半導体、ハードウェア株指数とソフトウェア株指数の相対推移



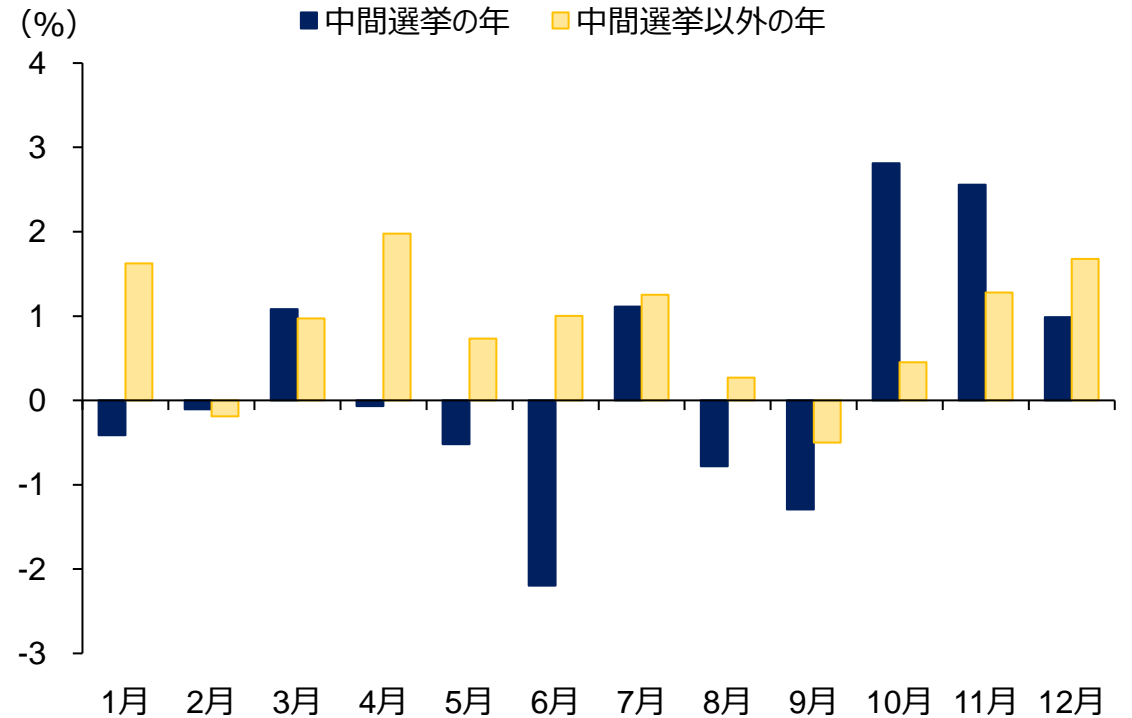
出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 日次 4月2日現在

政治 中間選挙年は波乱含みとなりつつも年末高となる傾向

米議会 共和党と民主党の議席数



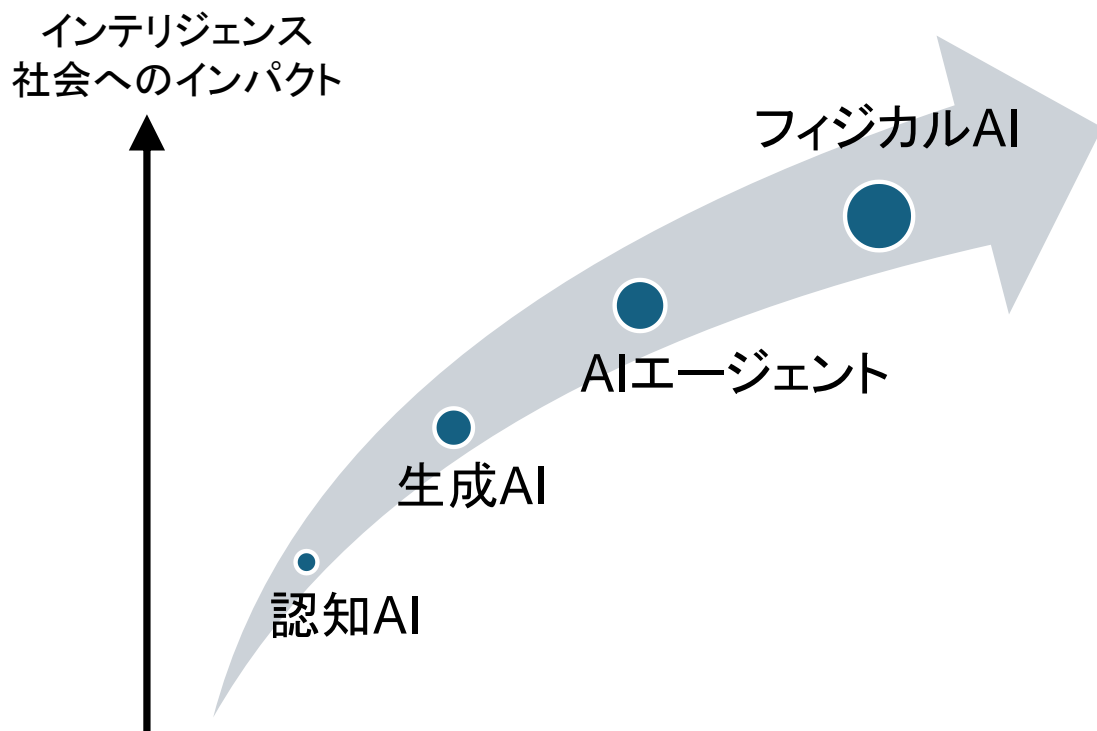
S&P500 中間選挙年とそれ以外の年の月次パフォーマンス



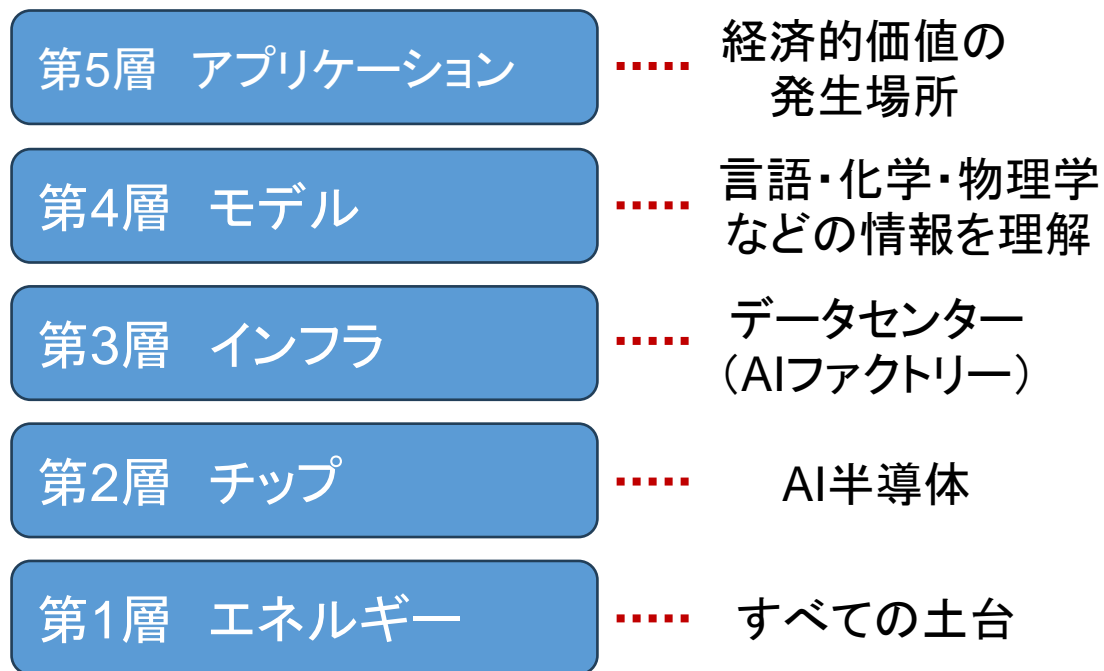
出所：米上院、米下院、各種報道 作成：岡三証券 4月3日現在 *上院の議長は副大統領が兼任

出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 1945年1月～2026年3月まで

進化するAI技術



AIは5層のケーキ -AI is a 5-Layer Cake-

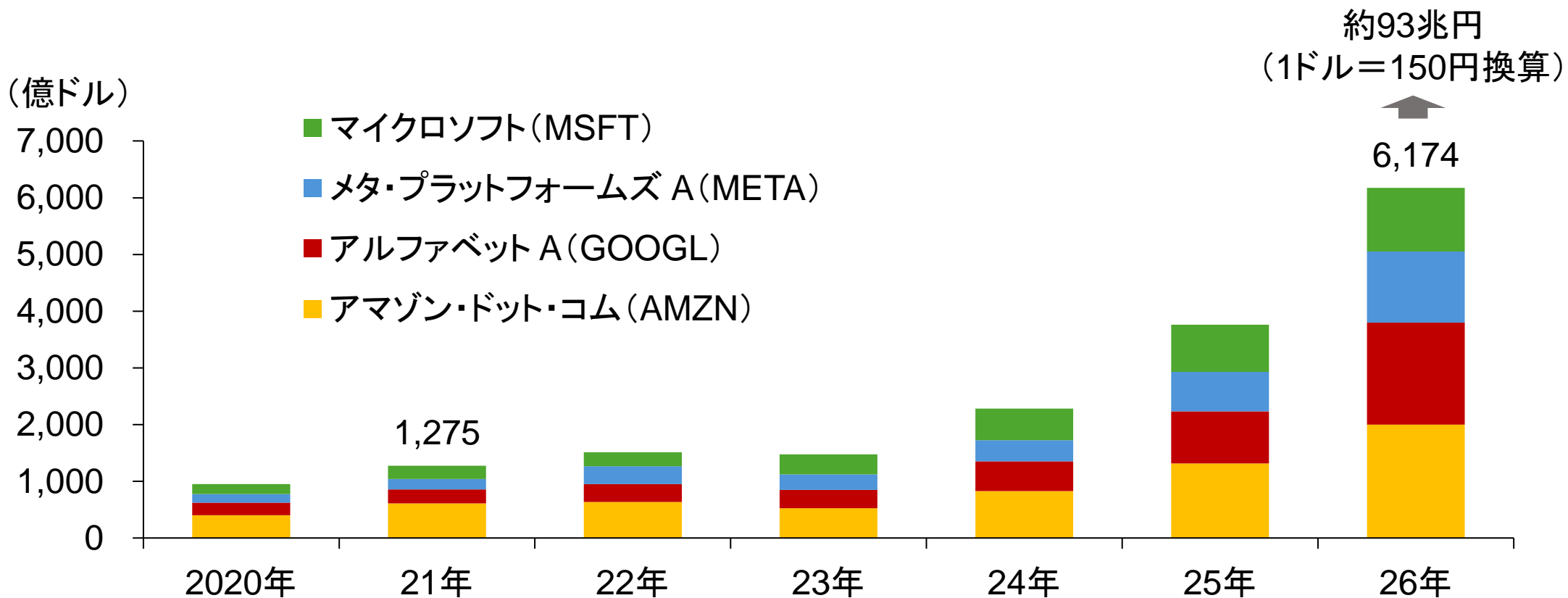


出所：各種資料 作成：岡三証券

出所：各種資料 作成：岡三証券

米IT大手は2026年もAI投資を拡大する見通し

米IT大手4社の設備投資額の推移



出所：会社資料、LSEG Workspace 作成：岡三証券
2026年は、METAとGOOGLが会社計画の中央値、AMZNが会社計画、MSFTが市場予想 4月6日現在

主なAI関連銘柄

レイヤー	主な関連銘柄
第5層 (アプリケーション)	アドビ (ADBE) 、セールスフォース (CRM) 、クラウドストライク・ホールディングス A (CRWD) 、クラウドフレア A (NET) 、サービスナウ (NOW) 、パロ・アルト・ネットワークス (PANW) 、パラティア・テクノロジーズ A (PLTR) 、スノーflake (SNOW) 、テスラ (TSLA)
第4層 (モデル)	アマゾン・ドット・コム (AMZN) 、アルファベット A (GOOGL) 、IBM (IBM) 、メタ・プラットフォームズ A (META) 、マイクロソフト (MSFT) 、オラクル (ORCL)
第3層 (インフラ)	アリスタ・ネットワークス (ANET) 、アンフェノール A (APH) 、ブルーム・エナジー (BE) 、シエナ (CIEN) 、コヒレント (COHR) 、イートン (ETN) 、コーニング (GLW) 、ルメンタム・ホールディングス (LITE) 、マステック (MTZ) 、クアンタ・サービシズ (PWR) 、バーティブ・ホールディングス A (VRT)
第2層 (チップ)	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD) 、アーム・ホールディングス ADR (ARM) 、ブロードコム (AVGO) 、インテル (INTC) 、マイクロン・テクノロジー (MU) 、エヌビディア (NVDA) 、サンディスク (SNDK) 、ウエスタン・デジタル (WDC)
第1層 (エネルギー)	キャタピラー (CAT) 、カメコ (CCJ) 、コンステレーション・エナジー (CEG) 、カミンズ (CMI) 、デューク・エナジー (DUK) 、GEベルノバ (GEV) 、タレン・エナジー (TLN) 、ヴィストラ (VST)

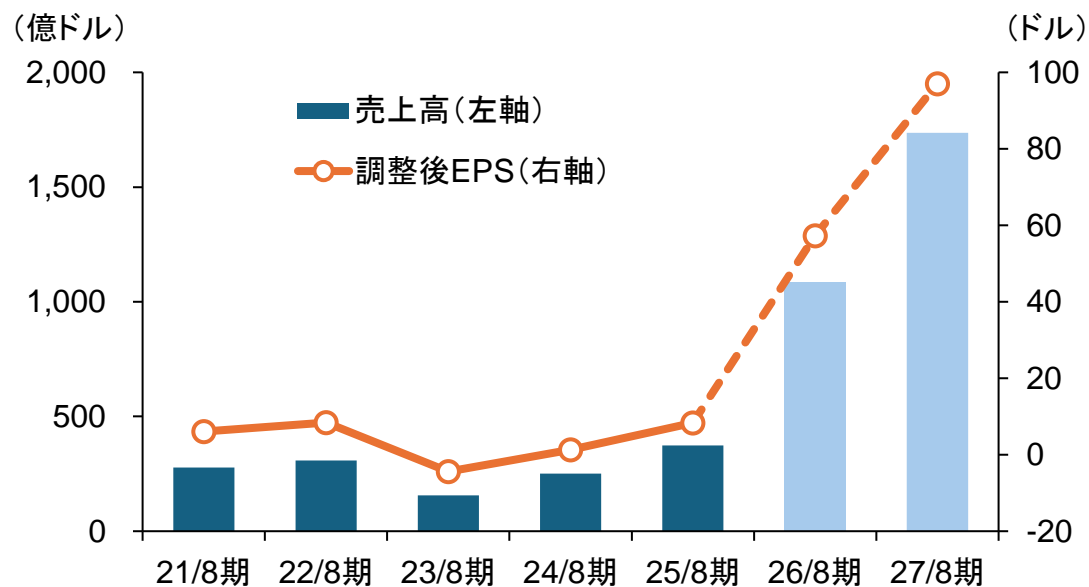
出所：各種資料 作成：岡三証券 全て岡三証券取り扱い銘柄

注目銘柄：マイクロン・テクノロジー（MU 米国株）

注目ポイント

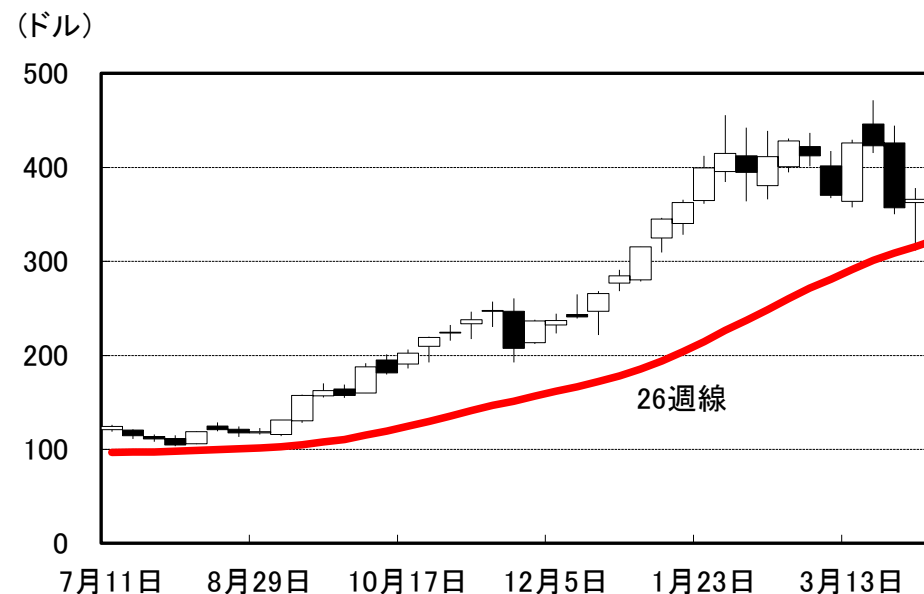
1. 3次元積層DRAMで高帯域幅を持つHBMやNAND型フラッシュメモリーの開発・製造を手掛ける
2. 2025年12月に、データセンター向けに経営資源を集中するため、消費者向けメモリー事業からの撤退を発表
3. 半導体メモリーの生産能力拡大に向け、米国やシンガポールで製造施設の建設を進める

▼売上高と調整後EPSの推移



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 26/8期以降は市場予想 4月6日現在

▼株価推移（週足）



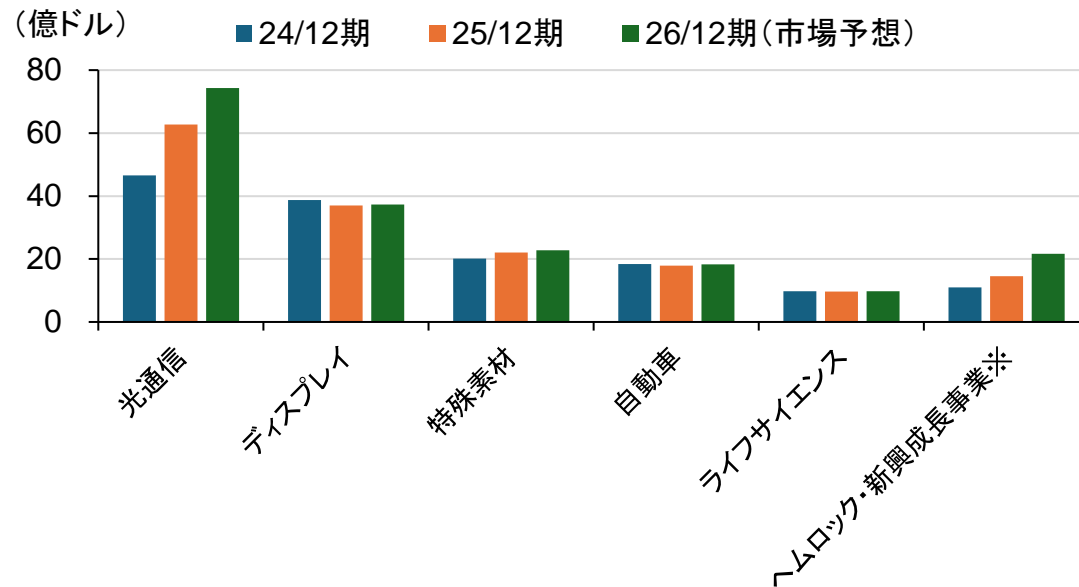
作成：岡三証券 4月6日現在

注目銘柄：コーニング（GLW 米国株）

注目ポイント

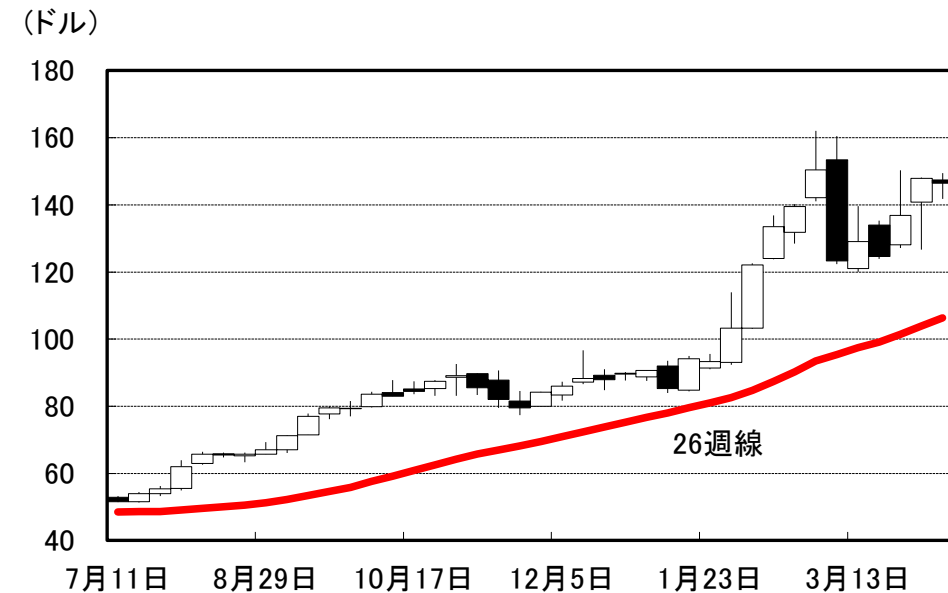
1. 高性能ガラスや光学製品などを提供する。光ファイバーケーブルでは世界トップクラスのシェアを有する
2. 1月に、メタ・プラットフォームズと光ファイバーケーブルなどを供給する最大60億ドル規模の複数年契約を締結
3. 3月には、メタと共同で生産能力増強に向けた工場建設を開始したと発表

▼セグメント別売上高の推移



※主に、多結晶シリコンを製造する子会社のヘムロック・セミコンダクター・グループの業績で構成される
出所：会社資料、LSEG Workspace 作成：岡三証券 市場予想は4月6日現在

▼株価推移（週足）



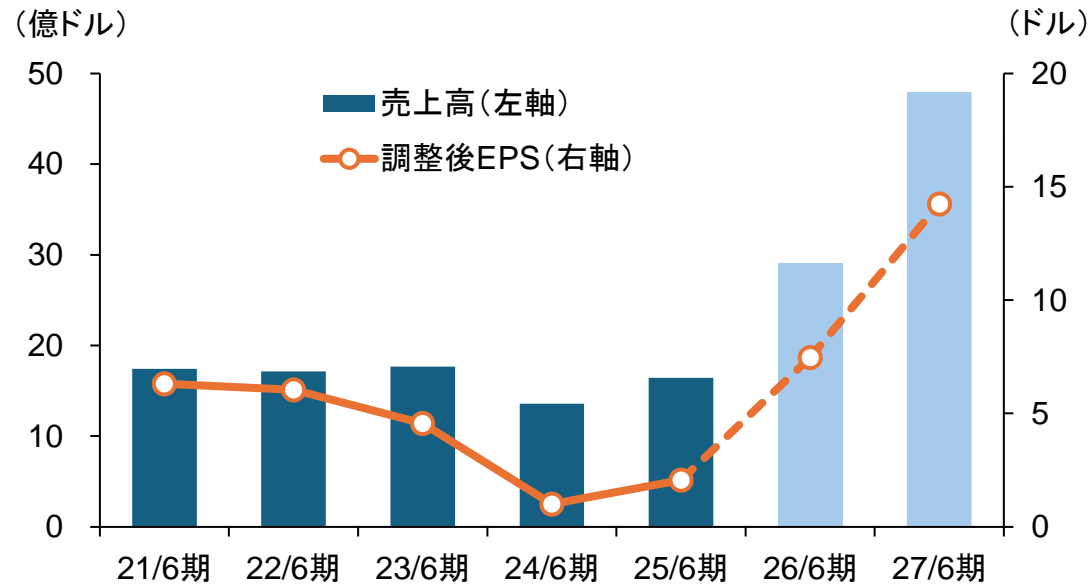
作成：岡三証券 4月6日現在

注目銘柄：ルメンタム・ホールディングス（LITE 米国株）

注目ポイント

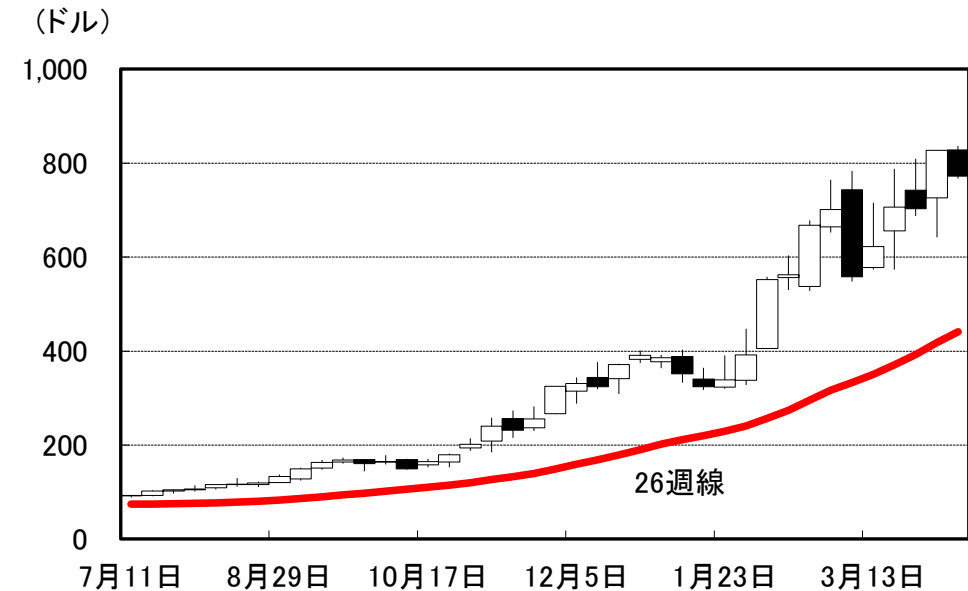
1. 光学・フォトニクス製品を手掛ける。データセンター向けに、電気信号と光信号を相互に変換する光トランシーバーや、変換を行わず光信号を直接転送する光回路スイッチなどを提供する
2. 3月には、エヌビディアより20億ドルの出資を受けると発表。3月23日付で、S&P500指数へ組み入れられた

▼売上高と調整後EPSの推移



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 26/6期以降は市場予想 4月6日現在

▼株価推移（週足）



作成：岡三証券 4月6日現在

重要な注意事項

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記載されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

【手数料およびリスクについての重要な注意事項】

- ・金融商品の購入には手数料等その他の費用がかかります。
- ・金融商品にはリスク(元本損失を生じるおそれ)があります。
- ・取引や商品ごとに手数料等及びリスクが異なりますので、詳細は右記QRコードのリンク先「手数料およびリスクについての重要な注意事項」をよくご確認ください。リスク・手数料等を記載した書面をご請求される場合は、当社コンタクトセンター(☎0120-390603)までお問い合わせ下さい。



<https://www.okasan.co.jp/disclaimer.html>

【日本以外の地域における本レポートの配布】

・香港: 本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亜洲)有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亜洲)有限公司にお願いします。

・米国: 本レポートの作成者は、米国の証券業界の自主規制機関(FINRA)にリサーチ・アナリストとして登録されておらず、リサーチレポートの作成およびアナリストの独立性に関する米国規制の適用を受けません。第三者による本調査レポートは、1934年証券取引所法規則第15a-6条(改正を含む)に定められる主要米国機関投資家(Major US Institutional Investors)に対してのみ、米国の証券会社であるWedbush Securities Inc.(1934年証券取引所法第15条に基づき登録、以下「Wedbush」といいます。)により、米国内で配布されます。Wedbushによる米国内の本レポート配布に関してはWedbushが全責任を負うものといたします。本レポートは、いずれかの管轄区域内の法令等によりWedbushが本レポートの提供を禁止または制限されている投資家を対象としたものではありません。本レポートを閲覧する前に、Wedbushが関連法令・規制に基づいてお客様に投資関連資料を提供することが許可されている旨をご自身でご確認ください。本レポートを受領・閲覧し、記載されている証券の取引を希望する米国内の投資家は全て、本レポートの発行者ではなく、以下の者と取引を行う必要があります: Wedbush Securities Inc., 1000 Wilshire Blvd, Los Angeles, California 90017, 電話番号+1(646)604-4232。

・その他の地域: 本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等をすることが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

(2026年4月改定)